

# 第3次名護市観光振興基本計画 概要版



令和7年3月  
名護市

# 目次

<b>第1章 はじめに</b>	<b>3</b>
(1) 計画名称	4
(2) 計画期間	4
(3) 本計画策定の目的	4
(4) 本計画策定の手順	5
<b>第2章 名護市観光の現状および外部環境について</b>	<b>7</b>
(1) 第2次名護市観光振興基本計画の検証	8
<b>第3章 基本理念、目指す姿、KGI(最終成果指標)</b>	<b>9</b>
(1) 導出ロジック	11
(2) 基本理念	13
(3) 目指す姿およびKGI	13
<b>第4章 計画の基本方針、具体的施策、成果指標、ロードマップ</b>	<b>15</b>
(1) 基本方針	16
(2) 基本方針ごとの取り組みテーマ、 取り組み内容、アクションプラン、実施主体、連携先、KPI	17
(3) 成果指標	19
(4) 具体的施策のロードマップ	20
<b>第5章 分析手法</b>	<b>25</b>
(1) アンケート調査に関する基本的な考え方	26
(2) データ収集分析手法、蓄積方法、レポートニング、データ等の管理	27
<b>第6章 計画の進捗管理</b>	<b>31</b>
(1) 観光振興基本計画の推進に向けた運用体制の考え方	32
(2) 観光振興計画の進捗管理方法	33

---

## 第1章 はじめに



## (1) 計画名称

---

第3次名護市観光振興基本計画

## (2) 計画期間

---

令和7年(2025年)4月～令和12年(2030年)3月までの5年間

## (3) 本計画策定の目的

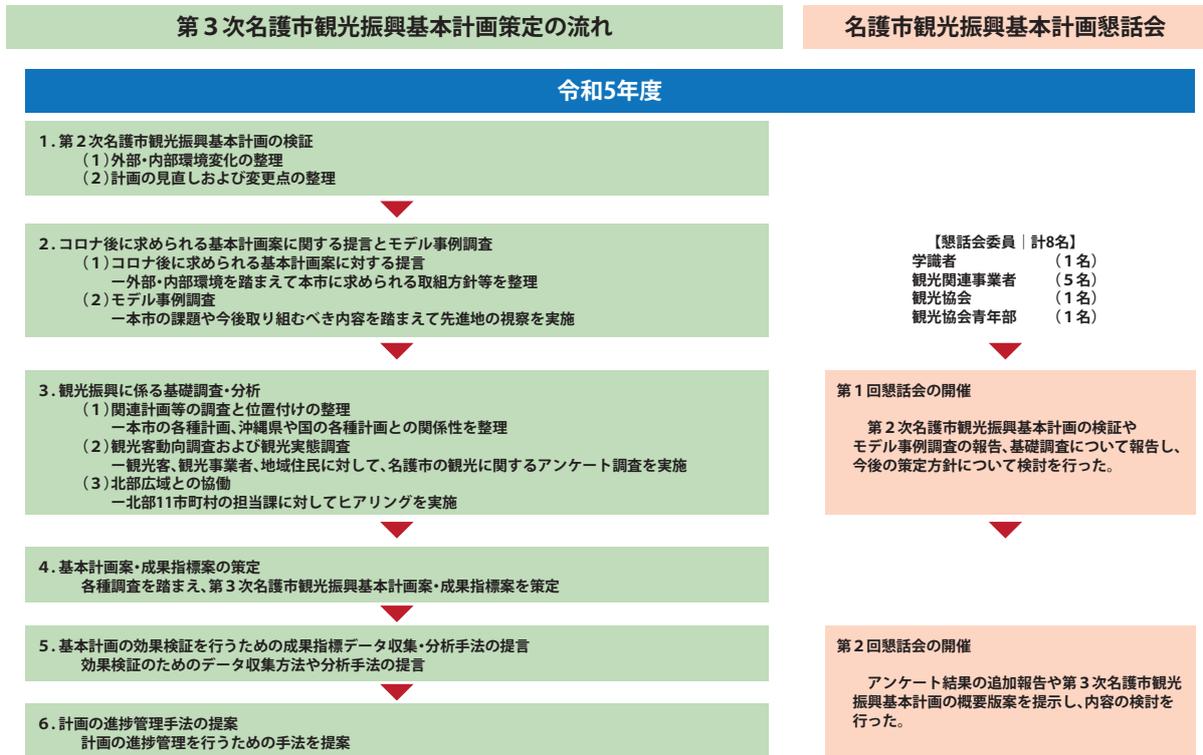
---

観光産業は、地域振興と経済発展の重要な産業である。その影響は旅行業や宿泊業にとどまらず、飲食、小売、農林水産、製造業など、幅広い分野に及ぶ。この産業の持つ潜在力を最大限に活かすため、名護市ではこれまでに第1次名護市観光振興基本計画および第2次名護市観光振興基本計画を策定し、関係各所と連携し観光振興に取り組んできた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光産業を取り巻く環境は劇的に変化している。旅行者の新たな価値観のみならず日常生活における思考・行動変容が顕著となっており、また、観光人材不足に代表される観光関連事業者の経営課題が顕在化しており、環境変化を捉えた本計画の策定、計画に基づく施策の具現化が求められていると認識している。引き続き、流動的な外部環境に柔軟に対応する必要性に鑑み、令和7年度から基本計画施行・成果指標達成に向けた効果的な施策展開を具現化することで名護市観光産業の回復・発展を実現することを目的に、第3次名護市観光振興基本計画を策定する。

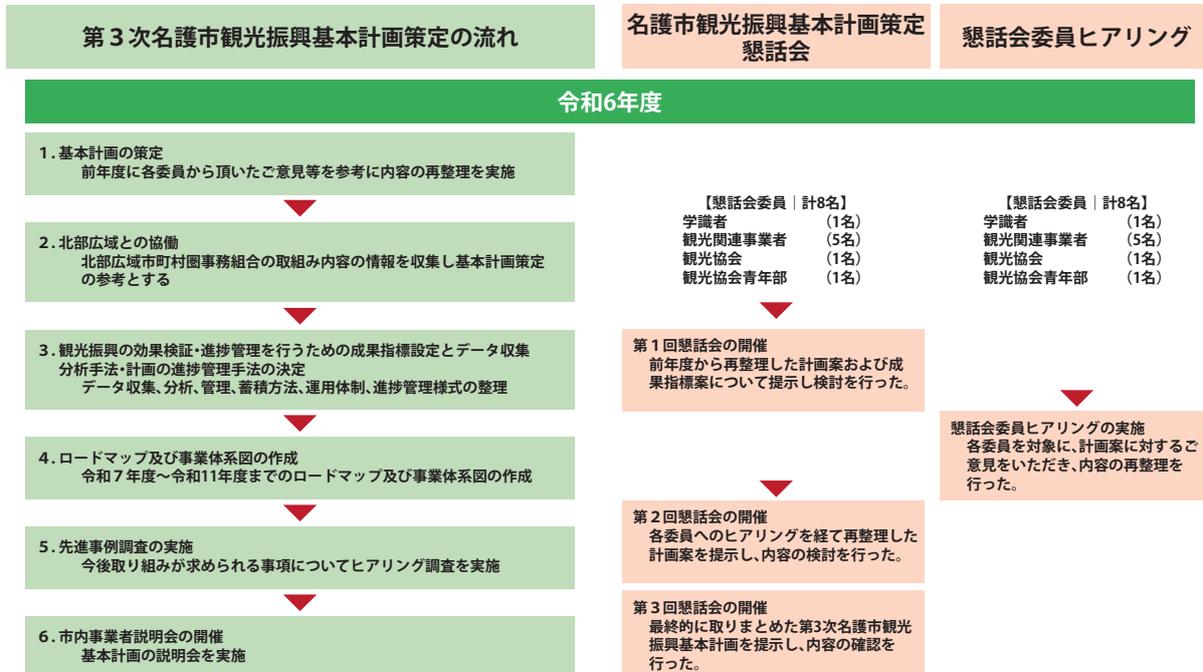
本計画が、名護市観光協会、市内観光事業者、名護市商工会、高等教育機関等、行政が地域一体となって観光振興に取り組むための計画とする。

## (4) 本計画策定の手順

<令和5年度>



<令和6年度>





## 第2章 名護市観光の現状および 外部環境について



## (1) 第2次名護市観光振興基本計画の検証

第2次名護市観光振興基本計画の検証については、第2次名護市観光振興基本計画策定後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅行者の価値観の変化や、観光人材不足に代表される観光関連産業の経営課題等が顕在化する等、観光産業を取り巻く内外の大きな環境変化を踏まえ、以下の観点から計画の見直しの必要性について検討する。

### ①「持続可能な観光」の導入

名護市観光の経済的発展、環境的な適正性の維持、地域社会・文化の均衡のとれた発展のため、「持続可能な観光」（＝サステナブルツーリズム）の概念を導入する。

### ②戦略的マーケティング

北部テーマパークの開業を機会として、滞在・周遊促進、高付加価値化に向けた戦略性の高いマーケティングの展開。

### ③北部テーマパーク開業に向けた対応

北部テーマパークの開業によって見込まれる観光客の増加に向けた、受入体制の整備・充実化。

### ④地域一体的な観光地づくりと事業者支援

コロナ禍による人手不足等に直面する観光産業を支援しつつ、産学官民、地域全体で支え合う体制の構築、充実化。

### ⑤周辺地域との広域連携および他の政策との連動

交通結節点としての役割や宿泊地としての魅力づくり等、観光地域づくりの推進母体DMO(設立予定)と連携し、北部観光全体の振興を見据えた広域連携の推進。

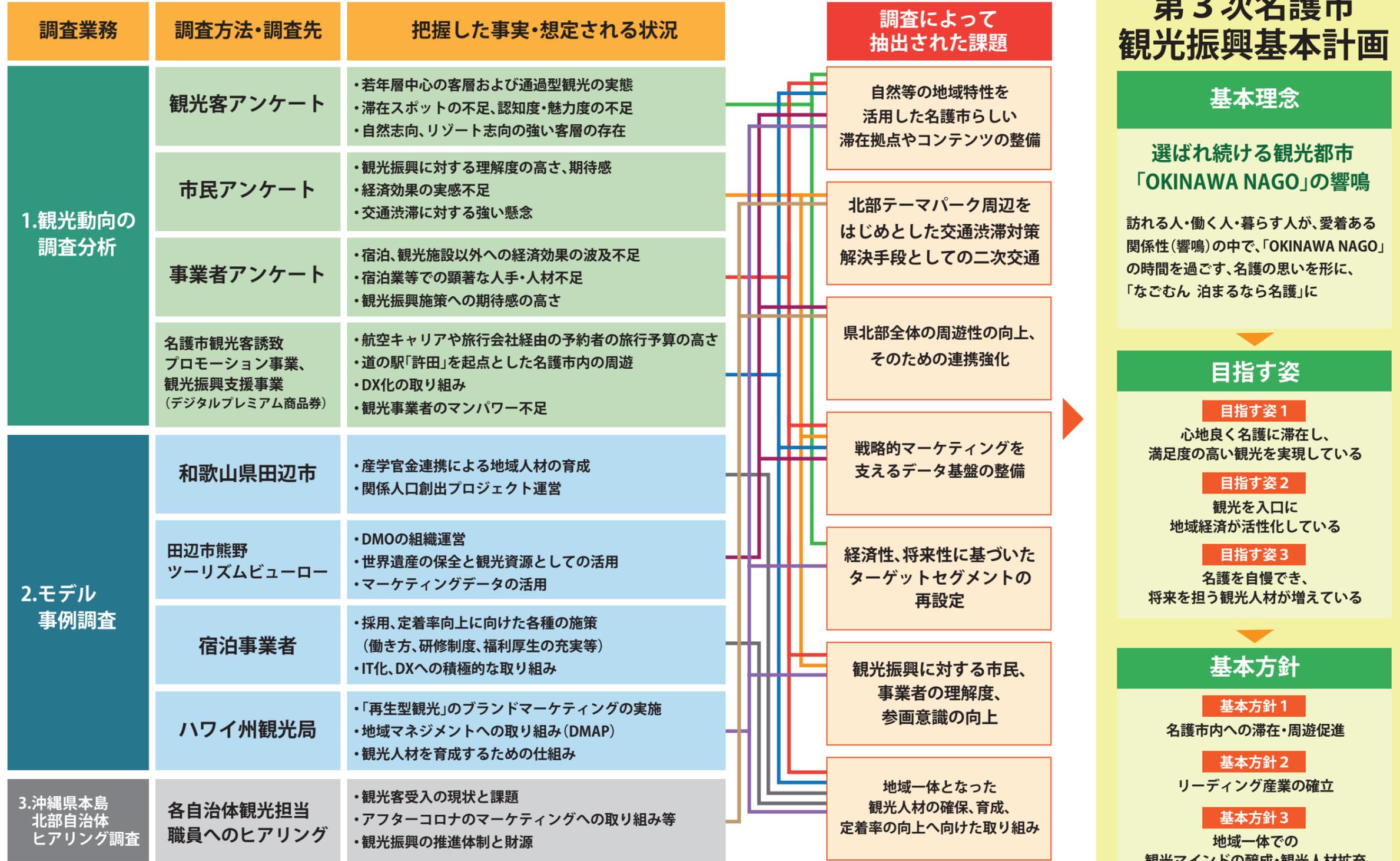
## 第3章 基本理念、目指す姿、 KGI(最終成果指標)





# (1) 導出口ジック

前章の各調査結果を踏まえ、以下の通り「把握した事実・想定される状況」、「調査によって抽出された課題」について整理し、本市の観光振興に関する基本理念や目指す姿、方針等を整理した。





## (2) 基本理念

本市が観光を振興する上で、大切にする基本理念として以下を設定した。

### 選ばれ続ける観光都市「OKINAWA NAGO」の響鳴

訪れる人・働く人・暮らす人が、愛着ある関係性(響鳴)の中で、  
「OKINAWA NAGO」の時間を過ごす、  
名護の思いを形に、「なごむん 泊まるなら名護」に

#### 響鳴(きょうめい)

それぞれの力を発揮(音を奏で)し、  
互いにハーモニーを生み出し、  
その力を最大に引き出し共に栄える

#### なごむん

名護の魅力ある自然や文化、特産品や食、  
優しい人々など”なごむん(なごのもの)”を  
知ってもらい、名護で和んでもらいたい!!

## (3) 目指す姿およびKGI

選ばれ続ける観光都市「OKINAWA NAGO」の響鳴を基本理念の基、観光振興を推進する上で、名護市に訪れる人・働く人・暮らす人にとって、5年後の名護市の目指す姿および目指す姿を実現するためのKGI(最終成果指標)を設定する。

目指す姿	KGI(最終成果指標)
<b>目指す姿 1</b> 心地良く名護に滞在し、満足度の高い観光を実現している	<ul style="list-style-type: none"><li>観光客の満足度</li><li>観光消費額</li><li>市民の観光に対する好ましさ</li><li>市内観光事業者の雇用者数</li></ul>
<b>目指す姿 2</b> 観光を入口に地域経済が活性化している	
<b>目指す姿 3</b> 名護を自慢でき、将来を担う観光人材が増えている	



## 第4章 計画の基本方針、具体的施策、 成果指標、ロードマップ



## (1) 基本方針

前章の目指す姿を実現するために本計画期間に取り組むべき施策の方針として、以下の3つを設定する。

**基本方針 1** 名護市内への滞在・周遊促進

**基本方針 2** リーディング産業の確立

**基本方針 3** 地域一体での観光マインドの醸成・観光人材拡充

### ①基本方針 1 名護市内への滞在・周遊促進

目指す姿1を実現するために、本市経済が、観光によって経済効果を得ていくためには、観光客が本市を「通過」するのではなく、市内に、より長く滞在してもらうことが重要であり、そのためには市内の各観光スポット等を周遊してもらうことが不可欠である。

### ②基本方針 2 リーディング産業の確立

観光産業は宿泊施設や観光施設等の一部産業にとどまらず、さまざまな産業に対して経済波及効果をもつ、すそ野が広い産業である。目指す姿2を実現するために、名護市の観光産業がリーディング産業としての位置づけを確固たるものとするとともに、さらなる観光振興を推進していくための機運醸成等を名護市観光協会中心に市内観光事業者等と連携して取り組む必要がある。

### ③基本方針 3 地域一体での観光マインドの醸成・観光人材拡充

目指す姿3を実現するために、多くの観光客に来訪・周遊を促し、滞在促進を図るためには、地域一体となって観光の魅力を享受し、名護を自慢できる機運を高め、充実した受入体制の確立を図る必要がある。特に人手不足が深刻化する中で、観光産業を維持していくためには、観光人材の確保、育成が重要なテーマとなる。

## (2) 基本方針ごとの取り組みテーマ、取り組み内容、アクションプラン、実施主体、連携先、KPI

基本方針として掲げたテーマについて、より詳しく細分化し、基本理念や目指す姿を鑑みながら、取り組みテーマ等を整理した。

基本方針	取り組みテーマ	取り組み内容	アクションプラン	KPI	実施主体	連携先
基本方針1 名護市内への滞在・周遊促進	(1) 観光誘客に向けた情報発信の充実	①名護ならではのツーリズムの醸成・推進	a. 海や山、川等の自然や豊かな食文化、豊年祭といった伝統文化等を生かしたツーリズムの醸成・推進	ア. 平均消費額 イ. 宿泊施設入込客数 ウ. 観光施設入込客数 エ. イベント来場者数 オ. 平均立寄箇所数 カ. 平均泊数	名護市観光協会	市内観光事業者 名護市商工会
		②各種推進するツーリズムを中心に名護のファンづくりに向けた各種チャンネルの活用および他機関と連携したプロモーション活動の実施	a. 観光客(国内外)の誘客に向け各種データを活用したセグメント設定、有効なプロモーションの実施 b. SNS、ラジオ等のチャンネルを活用したプロモーションの実施 c. スポーツキャンプを機会とした、チーム本拠地におけるプロモーションの実施 d. 名護市と関係性のある地域と連携したプロモーションの実施 e. 沖縄修学旅行等の相談会参加におけるプロモーションの実施		名護市観光協会	市内観光事業者 名護市商工会 プロスポーツチーム 他地域 修学旅行誘致委員会
		③名護市観光協会公式ホームページ「なごむん」を活用し、名護市の魅力や旅に役立つ情報等の発信	a. 宿泊施設情報、体験施設情報、飲食施設情報、イベント情報等の最新情報の掲載・拡充 b. AIの活用による観光客ニーズとのマッチングを実現し、滞在・周遊プランを提供 c. 他機関と連携し交通渋滞状況や渋滞予測、観光施設等の混雑状況を可視化し、観光客の分散化を図る d. 名護市ふるさと納税サイトとの連携等		名護市観光協会	市内観光事業者 他機関 名護市商工会
		④北部周遊観光に向けた北部圏域および北部広域市町村圏事務組合との連携	a. 最新の名護市観光情報(宿泊施設情報、体験施設情報、飲食施設情報、イベント情報等)の提供 b. 名護市観光パンフレットや名護市観光コンテンツの素材(写真・動画)の提供		名護市観光協会	北部圏域 北部広域市町村圏事務組合 市内観光事業者
	(2) 観光誘客に向けた受入体制の充実	①観光客が困らず楽しく過ごすための利便性向上を図るインフラ整備の実施	(a～cは名護市観光協会ホームページ「なごむん」を活用した取り組み) a. 防災情報の発信(=名護市WEB/ハザードマップ等との連携) b. 多言語化の整備 c. 名護市観光パンフレットのダウンロード機能再構築 d. 他機関ならびに観光事業者等と連携し観光施設等の混雑状況の可視化に向けた整備を図る e. パークアンドライド(自宅から停留所等まで自動車で行き、そこから公共交通機関を活用する)の取り組み連携 f. 観光事業者向けインフラ整備導入への理解促進セミナーの開催(=観光事業者サイトの多言語化やキャッシュレス決済、wifi導入等のセミナー) g. 観光客や市民の利便性向上・交通渋滞緩和に向けた二次交通対策における連携 h. 名護市のまちづくり計画と連動した情報集積・発信拠点の検討		名護市観光協会	市内観光事業者 北部圏域 北部広域市町村圏事務組合 他機関
		②さくらと花の景観づくり・地域ブランドとしての確立に向けた“さくらと花のまち”の推進	a. 市民とつくり、ツナグ“さくらと花のまち”名護市を目指すためのプロジェクト方針の策定・実行 b. テッポウユリ普及推進による年次計画の策定・実行		名護・さくらの会 花の里づくりの会	名護市観光協会 名護市商工会 市内観光事業者 北部国道事務所
		③スポーツをフックに観光誘客に向けたスポーツコンベンションの推進	a. スポーツキャンプ等における受け入れ体制の充実(スポーツコミッションの設立他)		名護市観光協会	市内観光事業者 名護市商工会

※名護市役所は全ての取り組み内容の実施主体に関わるものである。

基本方針	取り組みテーマ	取り組み内容	アクションプラン	KPI	実施主体	連携先		
基本方針2 リーディング産業の確立	(1) 観光事業者に対する支援	①観光事業者による戦略的マーケティングの実施に向けた環境構築および有益情報の提供を支援	a. オープンデータ、人流データ等の利活用に向けた事業者専用ページの構築、登録・活用促進 (=活用促進のための事業者向け説明会開催も含む) b. オープンデータ、人流データ、なごむん等から得たデータを活用し、経済性、将来性に基づいたターゲットセグメントの再設定と戦略的マーケティングへの反映・活用促進 c. 戦略的マーケティングを活用した各種プロモーションの連携(基本方針1(1)②と連動)	ア. 平均消費額 イ. 宿泊施設入込客数 ウ. 観光施設入込客数 エ. イベント来場者数 オ. 平均立寄箇所数 カ. 平均泊数 キ. 市内観光事業者の経済効果の実感 ク. 市内観光事業者(従業員)の満足度(給与や人材育成、福利厚生改善を含めた待遇面)	名護市観光協会	市内観光事業者		
		②名護市に存在する魅力を発信するために観光客向けコンテンツの充実・開発・支援	a. 名護市の資源(自然・食・伝統文化等)を活用したコンテンツの充実・開発・支援(=観光庁等の補助金を活用したコンテンツ開発における連携等)					
		③プロモーション強化の為に名護市観光パンフレットや名護市観光コンテンツ素材(写真・動画)の活用支援	a. 観光事業者が活用する名護市に特化したメディアライブラリーの構築・運用・充実 (掲載媒体:名護市観光協会公式ホームページ「なごむん」)					
基本方針3 地域一体での観光マイノリティの醸成・観光人材拡充	(2) 観光事業者の一体感を図るための機運醸成づくり	①選ばれ続ける観光都市「OKINAWA NAGO」としての地域ブランドの確立・推進	a. 地域ブランドのブランディング計画およびガイドラインの策定・実行	ク. 市内観光事業者(従業員)の満足度(給与や人材育成、福利厚生改善を含めた待遇面) ケ. 市民の経済効果の実感	名護市観光協会	市内観光事業者		
	(3) 観光事業者と一体となった安心・安全な受入体制の充実	①持続可能な観光地としてのオーバーツーリズム対策および観光危機管理体制の構築	a. 他機関ならびに観光事業者等と連携し、観光施設等の混雑状況の可視化に向けた整備を図る b. パークアンドライド(自宅から停留所まで自動車で行き、そこから公共交通機関を活用する)の取り組み連携 c. 観光危機管理マニュアル等の作成・実行				名護市観光協会	市内観光事業者 他機関
	(1) 地域住民に対する観光振興への理解促進	①地域住民に対してリーディング産業の確立に向けた認知定着を図るための情報発信	a. 観光産業がもたらす経済波及効果(観光消費額)等の情報発信 b. 市民のひろば、SNS、ラジオ等のチャネルを活用したプロモーションの実施					
②地域住民に対して観光事業者・観光コンテンツの利用促進に向けた情報発信		a. 宿泊施設情報、体験施設情報、飲食施設情報、イベント情報等の最新情報の掲載・拡充 b. AIの活用による地域住民ニーズとのマッチングを実現し、滞在・周遊プランを提供 c. 他機関ならびに観光事業者等と連携し交通渋滞状況や渋滞予測、観光施設等の混雑状況を可視化し、地域住民の利便性向上を図る						
(2) 観光人材の確保・育成・定着に向けた産官学連携	①観光産業の国内外の人材獲得に向けた誘致・採用活動の実施	a. 観光事業者や高等教育機関等と連携した、就職説明会の開催 b. 他機関が実施する採用活動セミナー等への参加促進	名護市観光協会 名護市観光協会青年部(STEP)	高等教育機関等 他機関 市内観光事業者				
		②観光産業を支える観光人材の育成・強化活動の実施			a. 高等教育機関等と連携した課外授業の実施(=観光事業者と連携した職場体験の実施、観光事業者と学生の意見交換会の実施等) b. 高等教育機関等と連携した、イベントでのインバウンド対応、観光コンテンツ開発やプロモーション等の実施 c. 観光デジタル人材育成セミナー、情報発信に関するセミナー等の実施 d. やんばる高度観光人材育成推進協議会との連携	名護市観光協会 名護市観光協会青年部(STEP) やんばる高度観光人材育成推進協議会	高等教育機関等 市内観光事業者	

※名護市役所は全ての取り組み内容の実施主体に関わるものである。

### (3) 成果指標

#### ① 目指す姿に紐づくKGI

成果指標	指標の説明	把握手法	基準値	目標値
・観光客の満足度	観光客の旅行中の満足度	・観光客アンケート	94.25%	96.0%
・観光消費額（平均消費額×入込客数）	市内での観光消費額	・観光客アンケート（平均消費額） ・観光事業者アンケート（入込客数）	1132億4458万円	1811億9132万円
・観光に対する好ましさ（理解度）	市民の観光振興に対する好ましさ（理解度）	・市民アンケート	71.50%	75.0%
・市内観光事業者の雇用者数	市内の観光事業者の雇用者数	・観光事業者アンケート	R7年度調査にて基準値を設定	—

#### ② 各施策に紐づくKPI

成果指標	指標の説明	把握手法	基準値	目標値
・平均消費額	観光客の旅行中の平均消費額	・観光客アンケート	28,616円	45,785円
・宿泊施設入込客数	市内の宿泊施設への入込客数	・観光事業者アンケート	815,493人	1,304,788人
・観光施設入込客数	市内の観光施設への入込客数	・観光事業者アンケート	3,141,894人	5,027,030人
・イベント来場者数	市内で開催されているイベントの来場者数	・イベント主催者アンケート	269,844人	300,000人
・平均立寄箇所数	市内の観光スポットの周遊施設数 ※飲食店含む	・観光客アンケート ・オープンデータ	R7年度調査にて基準値を設定	—
・平均泊数 <sup>※1</sup>	市内での平均宿泊数	・観光客アンケート	0.62	1.00
・経済効果の実感（観光事業者）	観光事業者の観光による経済効果の実感値	・観光事業者アンケート	53.8%	60.0%
・市内観光事業者の満足度	市内観光事業者（従業員）の満足度	・観光事業者アンケート	R7年度調査にて基準値を設定	—
・経済効果の実感（市民）	市民の観光による経済効果の実感値	・市民アンケート	44.9%	55.0%

※1 平均泊数の算出について、延べ宿泊数をアンケート回答者数で除した数値となる。

## (4) 具体的施策のロードマップ

基本方針	取り組みテーマ	取り組み内容	アクションプラン	実施内容・時期 ※実施内容は効果検証を経てブラッシュアップする					KPI	実施主体	連携先
				R7	R8	R9	R10	R11			
基本方針1 名護市内への滞在・周遊促進	(1)観光誘客に向けた情報発信の充実	①名護ならではのツーリズムの醸成・推進	a.海や山、川等の自然や豊かな食文化、豊年祭といった伝統文化等を生かしたツーリズムの醸成・推進	・情報収集、マーケティングに基づく検討・分析、ツーリズムプラン・コンテンツの整理・企画・造成、情報発信・更新、効果検証					ア. 平均消費額 イ. 宿泊施設入込客数 ウ. 観光施設入込客数 エ. イベント来場者数 オ. 平均立寄箇所数 カ. 平均泊数	・名護市観光協会	・市内観光事業者 ・名護市商工会
		②各種推進するツーリズムを中心に名護のファンづくりに向けた各種チャネルの活用および他機関と連携したプロモーション活動の実施	a.観光客(国内外)の誘客に向け各種データを活用したセグメント設定、有効なプロモーションの実施	・データ収集・分析、セグメント設定、プロモーション実施、効果検証							
			b.SNS、ラジオ等のチャネルを活用したプロモーションの実施	・企画・立案、プロモーション実施、効果検証							
			c.スポーツキャンプを機会とした、チーム本拠地におけるプロモーションの実施	・企画・立案、プロモーション実施、効果検証							
			d.名護市と関係性のある地域と連携したプロモーションの実施	・企画・立案、プロモーション実施、効果検証							
			e.沖縄修学旅行等の相談会参加におけるプロモーションの実施	・企画・立案、プロモーション実施、効果検証							
		③名護市観光協会公式ホームページ「なごむん」を活用し、名護市の魅力や旅に役立つ情報等の発信	a.宿泊施設情報、体験施設情報、飲食施設情報、イベント情報等の最新情報の掲載・拡充	・情報収集、追加・修正情報発信・更新、効果検証						・名護市観光協会	・市内観光事業者 ・他機関 ・名護市商工会
			b.AIの活用による観光客ニーズとのマッチングを実現し、滞在・周遊プランを提供	・情報収集、追加・修正情報発信・更新、効果検証							
			c.他機関と連携し交通渋滞状況や渋滞予測、観光施設等の混雑状況を可視化し、観光客の分散化を図る	・企画・立案、データ基盤構築、ページ作成・公開、追加・修正情報発信・更新、効果検証							
			d.名護市ふるさと納税サイトとの連携等	・企画・立案、ページ作成・公開、プロモーション実施、効果検証							
		④北部周遊観光に向けた北部圏域および北部広域市町村圏事務組合との連携	a.最新の名護市観光情報(宿泊施設情報、体験施設情報、飲食施設情報、イベント情報等)の提供	・情報収集、情報提供、効果検証						・名護市観光協会	・北部圏域 ・北部広域市町村圏事務組合 ・市内観光事業者
			b.名護市観光パンフレットや名護市観光コンテンツの素材(写真・動画)の提供	・企画・立案、情報・素材収集、情報・素材提供、効果検証							

基本方針	取り組みテーマ	取り組み内容	アクションプラン	実施内容・時期 ※実施内容は効果検証を経てブラッシュアップする					KPI	実施主体	連携先
				R7	R8	R9	R10	R11			
基本方針1 名護市内への滞在・周遊促進	(2)観光誘客に向けた受入体制の充実	①観光客が困らず楽しく過ごすための利便性向上を図るインフラ整備の実施	(a～cは名護市観光協会ホームページ「なごむん」を活用した取り組み)						ア. 平均消費額 イ. 宿泊施設入込客数 ウ. 観光施設入込客数 エ. イベント来場者数 オ. 平均立寄箇所数 カ. 平均泊数	名護市観光協会	市内観光事業者 北部圏域 北部広域市町村圏事務組合 他機関
			a.防災情報の発信(=名護市WEBハザードマップ等との連携)	企画・立案、ページ作成・公開、広報、効果検証							
			b.多言語化の整備	整備、運用、情報発信、効果検証							
			c.名護市観光パンフレットのダウンロード機能再構築	課題整理、機能再構築、運用、情報発信・更新、効果検証							
			d.他機関ならびに観光事業者等と連携し観光施設等の混雑状況の可視化に向けた整備を図る	企画・立案、データ基盤構築、ページ作成・公開、情報発信・更新、効果検証							
			e.パークアンドライド(自宅から停留所等まで自動車で行き、そこから公共交通機関を活用する)の取り組み連携	関係機関との連携・協議、企画・立案、実施、広報、効果検証							
			f.観光事業者向けインフラ整備導入への理解促進セミナーの開催(=観光事業者サイトの多言語化やキャッシュレス決済、wifi導入等のセミナー)	企画・立案、セミナー開催、効果検証							
			g.観光客や市民の利便性向上・交通渋滞緩和に向けた二次交通対策における連携	関係機関との連携・協議、企画・立案、実施、広報、効果検証							
		h.名護市のまちづくり計画と連動した情報集積・発信拠点の検討	情報連携、関係機関との協議、検討								
		②さくらと花の景観づくり・地域ブランドとしての確立に向けた“さくらと花のまち”の推進	a.市民とつくり、ツナグ“さくらと花のまち”名護市を目指すためのプロジェクト方針の策定・実行	企画・立案、方針策定、実行、効果検証							
			b.テッポウユリ普及推進による年次計画の策定・実行	企画・立案、計画策定、実行、効果検証							
		③スポーツをフックに観光誘客に向けたスポーツコンベンションの推進	a.スポーツキャンプ等における受け入れ体制の充実(スポーツコミッションの設立他)	企画・立案、実施(設立)、効果検証						名護市観光協会	市内観光事業者 名護市商工会

基本方針	取り組みテーマ	取り組み内容	アクションプラン	実施内容・時期 ※実施内容は効果検証を経てブラッシュアップする					KPI	実施主体	連携先
				R7	R8	R9	R10	R11			
基本方針2 リーディング産業の確立	(1)観光事業者に対する支援	①観光事業者による戦略的マーケティングの実施に向けた環境構築および有益情報の提供を支援	a.オープンデータ、人流データ等の利活用に向けた事業者専用ページの構築、登録・活用促進 (=活用促進のための事業者向け説明会開催も含む)	・データ基盤構築、データ収集、登録促進、活用促進 (説明会実施)、効果検証					ア. 平均消費額 イ. 宿泊施設入込客数 ウ. 観光施設入込客数 エ. イベント来場者数 オ. 平均立寄箇所数 カ. 平均泊数 キ. 市内観光事業者の経済効果の実感 ク. 市内観光事業者(従業員)の満足度(給与や人材育成、福利厚生改善を含めた待遇面)	・名護市観光協会	・市内観光事業者
			b.オープンデータ、人流データ、なごむん等から得たデータを活用し、経済性、将来性に基づいたターゲットセグメントの再設定と戦略的マーケティングへの反映・活用促進	・各種データ分析、ターゲットセグメントの再設定、戦略的マーケティングへの反映・活用促進、効果検証							
			c.戦略的マーケティングを活用した各種プロモーションの連携 (基本方針1(1)②と連動)	・戦略的マーケティングに基づいた各種プロモーションの実施、効果検証							
	(2)観光事業者の一体感を図るための機運醸成づくり	②名護市に存在する魅力を発信するために観光客向けコンテンツの充実・開発・支援	a.名護市の資源(自然・食・伝統文化等)を活用したコンテンツの充実・開発・支援 (=観光庁等の補助金を活用したコンテンツ開発における連携等)	・各種データ・情報収集、既存コンテンツの見直し、新規コンテンツ開発・支援、情報発信・更新、効果検証							
			③プロモーション強化のための名護市観光パンフレットや名護市観光コンテンツ素材(写真・動画)の活用支援	a.観光事業者が活用する名護市に特化したメディアライブラリーの構築・運用・充実 (掲載媒体:名護市観光協会公式ホームページ「なごむん」)	・メディアライブラリー構築、情報・素材収集、情報発信・更新、効果検証						
			①選ばれ続ける観光都市「OKINAWA NAGO」としての地域ブランドの確立・推進	a.地域ブランドのブランディング計画およびガイドラインの策定・実行	・企画・立案、基礎調査、協議会設定、計画・ガイドライン策定、ページ作成・公開、プロモーション実施、効果検証						
	(3)観光事業者と一体となった安心・安全な受入体制の充実	①持続可能な観光地としてのオーバーツーリズム対策および観光危機管理体制の構築	a.他機関ならびに観光事業者等と連携し、観光施設等の混雑状況の可視化に向けた整備を図る	・企画・立案、データ基盤構築、ページ作成・公開、情報発信・更新、効果検証							
			b.パークアンドライド(自宅から停留所等まで自動車で行き、そこから公共交通機関を活用する)の取り組み連携	・関係機関との連携・協議、企画・立案、実施、広報、効果検証							
			c.観光危機管理マニュアル等の作成・実行	・企画・立案、基礎調査、協議会設定、マニュアル作成、実行、効果検証							

基本方針	取り組みテーマ	取り組み内容	アクションプラン	実施内容・時期 ※実施内容は効果検証を経てブラッシュアップする					KPI	実施主体	連携先
				R7	R8	R9	R10	R11			
基本方針3 地域一体での観光マインドの醸成・観光人材拡充	(1)地域住民に対する観光振興への理解促進	①地域住民に対してリーディング産業の確立に向けた認知定着を図るための情報発信	a.観光産業がもたらす経済波及効果(観光消費額)等の情報発信	・データ構築、データ収集、ページ作成・公開、情報発信・更新、効果検証					ク. 市内観光事業者(従業員)の満足度(給与や人材育成、福利厚生改善を含めた待遇面) ケ. 市民の経済効果の実感	・名護市観光協会	・市内観光事業者 ・名護市観光協会青年部(STEP)
			b.市民のひろば、SNS、ラジオ等のチャネルを活用したプロモーションの実施	・情報収集、企画・立案、プロモーション実施、効果検証							
		②地域住民に対して観光事業者・観光コンテンツの利用促進に向けた情報発信	a.宿泊施設情報、体験施設情報、飲食施設情報、イベント情報等の最新情報の掲載・拡充	・情報収集、追加・修正情報発信・更新、効果検証							
			b.AIの活用による地域住民ニーズとのマッチングを実現し、滞在・周遊プランを提供	・情報収集、追加・修正情報発信・更新、効果検証							
			c.他機関ならびに観光事業者等と連携し交通渋滞状況や渋滞予測、観光施設等の混雑状況を可視化、地域住民の利便性向上を図る	・企画・立案、データ基盤構築、ページ作成・公開、追加・修正情報発信・更新、効果検証							
	(2)観光人材の確保・育成・定着に向けた産官学連携	①観光産業の国内外の人材獲得に向けた誘致・採用活動の実施	a.観光事業者や高等教育機関等と連携した、就職説明会の開催	・企画・立案、関係機関との連携・協議、説明会実施、効果検証					・名護市観光協会 ・名護市観光協会青年部(STEP)	・高等教育機関等 ・他機関 ・市内観光事業者	
			b.他機関が実施する採用活動セミナー等への参加促進	・情報収集、関係機関との連携・協議、参加促進、効果検証							
		②観光産業を支える観光人材の育成・強化活動の実施	a.高等教育機関等と連携した課外授業の実施(＝観光事業者と連携した職場体験の実施、観光事業者と学生の意見交換会の実施等)	・企画・立案、高等教育機関等との連携・協議、職場体験・意見交換会実施、効果検証							
			b.高等教育機関等と連携した、イベントでのインバウンド対応、観光コンテンツ開発やプロモーション等の実施	・企画・立案、高等教育機関等との連携・協議、各種イベント・コンテンツ開発・プロモーション等実施、効果検証							
			c.観光デジタル人材育成セミナー、情報発信に関するセミナー等の実施	・企画・立案、情報発信、各種セミナー等実施、効果検証							
			d.やんばる高度観光人材育成推進協議会との連携	・協議会との連携・協議、効果検証							



## 第5章 分析手法



## (1) アンケート調査に関する基本的な考え方

定期的に(毎年)実施するアンケート調査は、名護市および名護市観光協会が自らデータを取得し、分析できる方向で整理する。また、本計画の見直し時期には、KGIおよびKPIの進捗も含め、調査会社による専門的な調査分析を行う。

		計画策定後[毎年]	計画見直し時期[4～5年後]
観光客	名護市観光協会ホームページ「なごむん」を活用したアンケート調査	○	
	調査会社によるアンケート(WEB、現地)		○
	オープンデータ関連	○	
市内観光事業者	名護市観光協会ホームページ「なごむん」を活用したアンケート調査	○	
	調査会社によるアンケート(WEB、現地)		○
市民	名護市観光協会ホームページ「なごむん」を活用したアンケート調査	○	
	調査会社によるアンケート(WEB、現地)		○

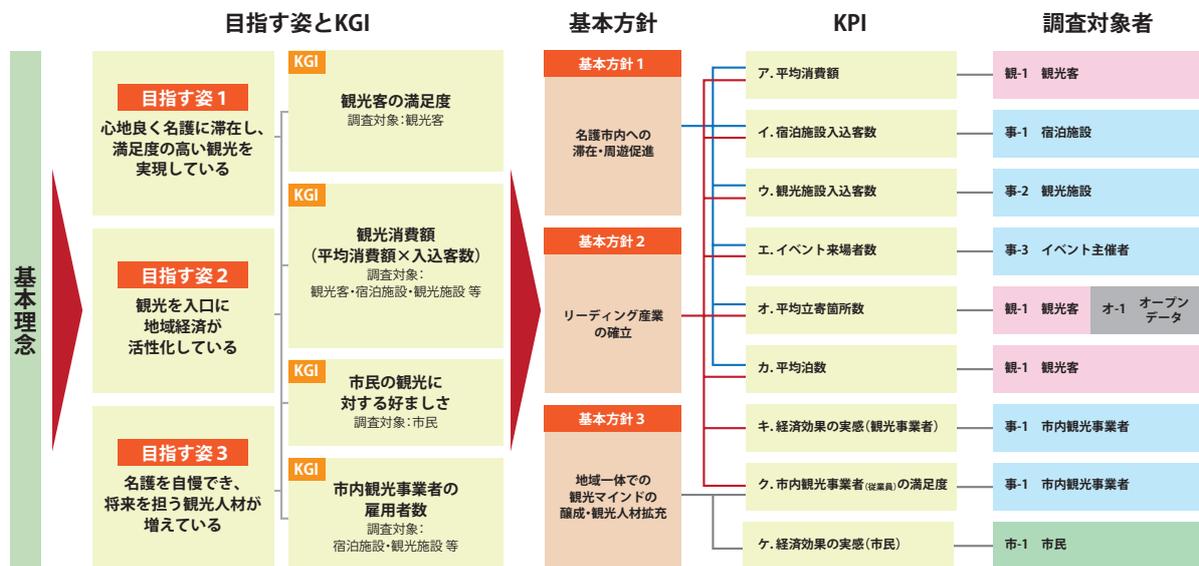
## (2) データ収集分析手法、蓄積方法、レポートニング、データ等の管理

データ収集分析手法、蓄積方法、レポートニング、データ等の管理について、以下3つのステップの通り実施する。

### ①ステップ1 | データ収集

計画に定めたKGIおよびKPIのイメージ図は以下の通りとなる。各種データの取得については、対象者ごと(観光客、市内観光事業者、市民、イベント主催者)にアンケート調査等を実施し取得する。

<目指す姿に紐づくKGI、各施策に紐づくKPIのイメージ図>



<調査対象者ごとのデータ取得方法について>

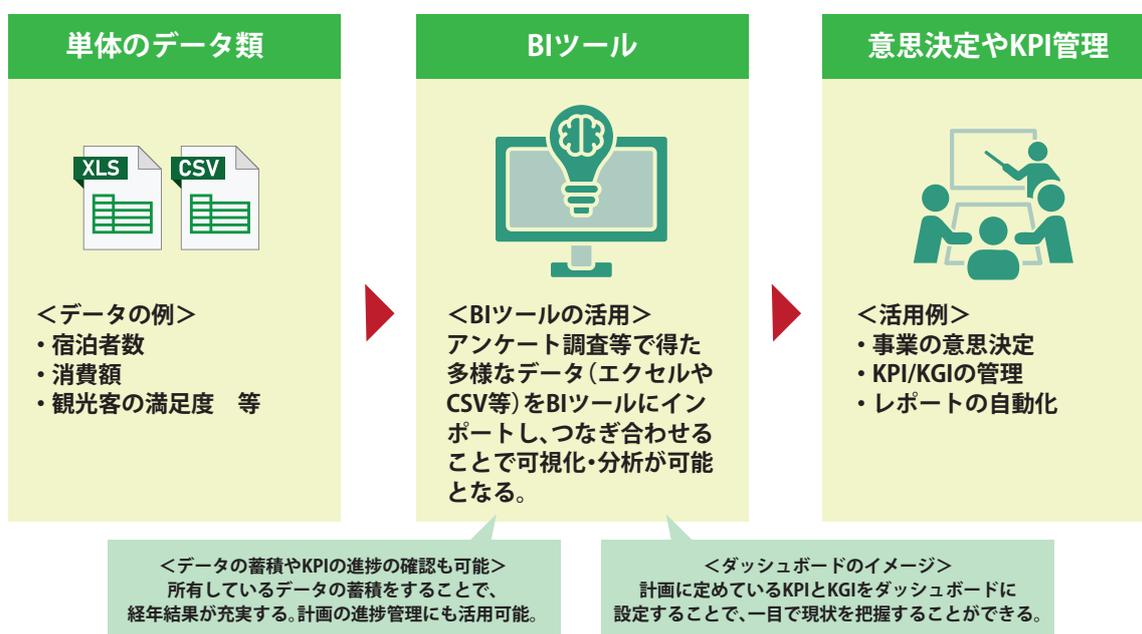
主にWebアンケートでの取得を想定し、調査対象者に即したアンケート調査を実施する。

調査対象者	データ取得方法
観光客	<ul style="list-style-type: none"> <li>名護市観光協会ホームページ「なごむん」を活用したWebアンケートによるデータ取得</li> <li>市内観光施設等にアクセス可能なQRコードを掲出</li> <li>おきなわ観光地域カルテ等のオープンデータによる取得</li> </ul>
市内観光事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>名護市観光協会ホームページ「なごむん」を活用したWebアンケートによるデータ取得</li> <li>各事業者に対して、メールにて専用リンクやQRコードを送付しデータを取得</li> </ul>

調査対象者	データ取得方法
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>名護市観光協会ホームページ「なごむん」を活用したWebアンケートによるデータ取得</li> <li>公共施設等にアクセス可能なQRコードを掲出</li> </ul>
イベント主催者	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント主催者への聞き取りによるデータ取得</li> </ul>

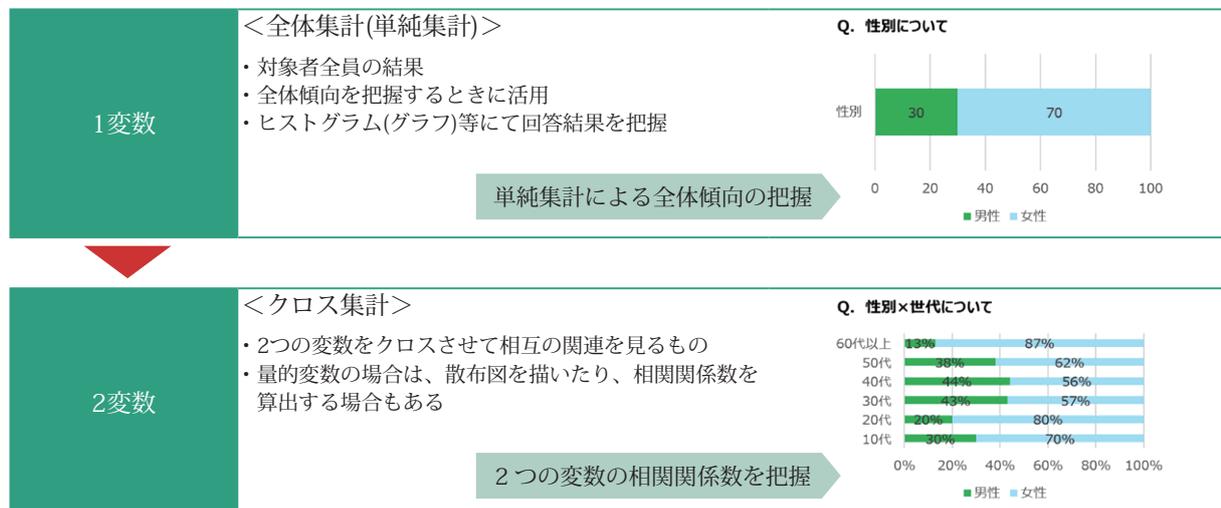
②ステップ2 | 分析手法、蓄積方法(BIツールでのデータ統合・可視化)

ステップ1で取得したデータを分析用ツール(データプラットフォーム)に取り込み、多様なデータをつなぎ合わせることで、可視化や分析を行う。また、暦年のデータの蓄積もデータプラットフォームで行いながら、それらのデータを基に各施策の進捗率や今後の方向性等の検討を行う。



<分析手法イメージ①>

1つの変数を分析する場合は、「全体集計」を用いて分析し、全体の傾向を把握する。加えて、2つの変数の傾向を分析するためにクロス集計を行い、それぞれの相関関係を分析する。



## <分析手法イメージ②>

調査対象者	【A】属性	【B】全体集計(1変数)	クロス(2変数) 【A】×【B】
観光客	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別</li> <li>年代別(年齢)</li> <li>住居別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名護市内での消費額</li> <li>名護市内での宿泊数</li> <li>訪問した観光施設数</li> <li>名護市での観光満足度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【B】に対して、【A】の傾向値を把握</li> <li>名護市の観光客来訪動向を詳細に把握することができる</li> </ul>
市内観光事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>業種</li> <li>従業員数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用人数</li> <li>経済効果の実感値</li> <li>観光従事者の満足度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名護市内の観光事業者の業種別に、経済効果の実感値や観光従事者の満足度を把握することができる</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別</li> <li>年代別(年齢)</li> <li>住居地域別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済効果の実感値</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別や年代ごとに名護市民の経済効果の実感値を把握することができる</li> </ul>

### ③ステップ3 | レポート、データ等の管理

調査報告書(レポート)を作成し、可視化されたデータに沿って結果の概要を作成する必要がある。以下の項目に沿って、毎年、整理することで、計画の進捗の妨げとなっている要因やそれに応じた対応策を検討することができる。また、取得したデータや調査報告書(レポート)の管理については、名護市観光課および名護市観光協会にて管理する。

## <調査報告書の構成イメージ>

1. 調査の趣旨および目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該アンケートがどのような趣旨や目的で実施されたものか明記することで、本結果の用途を明確にする。</li> </ul>
2. 調査時期/実施期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査を実施した時期や期間がどのくらいであったのかを明記することで、経年比較やシーズンリティを考慮する。</li> </ul>
3. 調査対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住地域や年齢、属性を明記することで、回答傾向を分かりやすくする。また、作為か無作為か等の対象者の抽出条件も明記する。</li> </ul>
4. 調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの回収方法について明記することで、この調査の信ぴょう性を確保する。</li> </ul>
5. 回収状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>母数が把握できる対象者は明記する。</li> </ul>
6. 結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロス集計表に加え、その調査結果を踏まえた考察やそれらの要因を明記することで、傾向把握をより詳細に把握する。</li> </ul>
7. 調査票サンプル等	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査票等、調査に利用した資料やデータを記載する。</li> </ul>



---

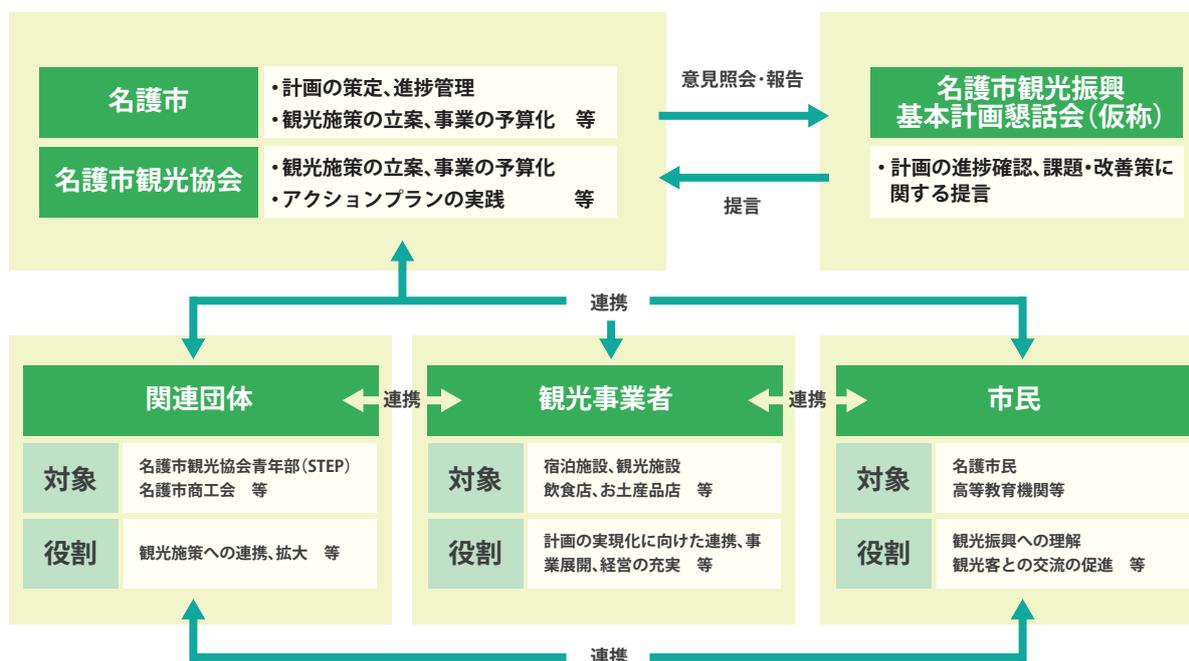
## 第6章 計画の進捗管理



## (1) 観光振興基本計画の推進に向けた運用体制の考え方

これまで、名護市における観光振興の取り組みには、市が主導で進めてきた事業や名護市観光協会が観光事業者と連携し、推進してきた取り組みがある。引き続き、各主体を横断的に連携させることが重要であり、そのための運用体制の更なる強化が求められる。

その運用体制の中核を担うのは、これまで多様な関係各所とともに名護市の観光産業の発展を支えてきた名護市観光協会となる。今後も観光協会を中核とし、名護市、関連団体、観光事業者および市民が、情報交換や意見交換を通じて相互に連携し、計画の実現化や進捗管理等を行い、持続可能な観光産業の発展に取り組んでいく。



## (2) 観光振興計画の進捗管理方法

第3次名護市観光振興基本計画に定めた目指す姿を実現するためには、計画に定めた施策やそれに紐づく成果指標の進捗管理と計画の検証、必要に応じて取り組みの改善を行うことが重要となる。そのサイクルを構築するにあたり、KGI、KPIのデータ収集および分析を行うとともに、その要因となっている事象について、有識者と共有し解決に向けた協議の場を設ける。

会議体名称	名護市観光振興基本計画懇話会（仮称）
-------	--------------------

### 【会議体の概要】

項目	内容	
会議体の目的と役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>名護市観光振興基本計画の進捗状況に対する提言を行う。</li> <li>※意思決定機関ではない</li> </ul>	
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>名護市観光振興基本計画の進捗確認、課題・改善策等に関する事</li> <li>名護市の観光振興への取り組みに関する事</li> <li>必要に応じたアクションプランの修正に向けた意見出し 等 (計画書の修正は含まない)</li> </ul>	
開催頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回/年</li> </ul>	
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該会議は8名以内とし、以下のメンバーで構成する。</li> </ul>	
	参加者	観点
	学識経験を有する者	名護市を取り巻く観光動向に基づいて、専門的（学識的）な見地からご意見を頂く。
	観光事業の運営その他観光に関し識見を有する者	観光事業者等の視点から、市内の観光課題の提起やそれに対する要望等、各団体との取り組み連携についてご意見を頂く。
地域住民を代表する者	地域住民の視点から、観光振興における地域との連携等についてご意見をいただく。	

### 【会議運営主体について】

名護市観光振興基本計画懇話会(仮称)の運営主体について、名護市観光課が所管する。



## 第3次名護市観光振興基本計画

---

発行年月

令和7年3月

発 行

名護市観光課

